

第二回奥ソロ競陸大會

新進選手の熱戦

種目毎に新記録續出
凱歌ブ・ウエンセスラウ・チームに

白須高吉氏に

奥ソロカバナ青年聯盟主催第二回陸上競技大會は去十六日七日兩日に亘り盛大に舉行され

近來運動的急調な興味相俟つて新記録の戦士の旗出殆んど種目毎に

新記録を作る機会であった一方新機械の争奪は全く理想つかず選手又一年の練習の會合にて必勝期しての奮闘は勿体なく接戦に次ぐ接戦で最後まで

白熱戦を演じ観衆はために熱狂的競技場を包んで興奮の増幅化した

當日大會は先づ参加チームの壯麗な入場式から始まり優勝旗カブトの返納各チームに

將の宣誓毛利總裁訓示、生駒書列長の訓示を挙げ行ひ斯くて正午大會議の開幕

コニアイシヨンは乾燥よく無風晴天にして暑氣甚し(以下決勝記録のみ記載括弧内は前回の優勝記録)

第一日目

小田弟(ビ)

走幅跳決勝(廿三米廿五)

1、廿七米三〇(新記録)山島(サ)

2、廿六米(同)土屋(サ)、3、廿五米(同)西(サ)

▼五百米決勝(四分五秒一五)

1、四分四十五秒四五(新記録)

2、榎本(サ)、3、小田兄(ビ)

バウルー見本市

小田兄(ビ)

徒に興奮するな 対策は除ろに練れ!!!

バウルーに代表者會議

主要問題は今後討議へ移す

去る十二日夜バウルー市沖山旅館

に於て各地日本人會代表者相聚

リバウルー管轄内聯合日本人會組合事務局にて開催した事は既報の通りであるが、翌十三日午前九時より更に同地領事館官邸に集り、排至るや先づ發起者代表アロミツソン汎川會長池戸忠次郎氏起つて一場の挨拶なし、同常任幹事鈴木造氏議事進行係なり

領事館の意見は先般新聞紙上に見同一である旨述べられ、聖

州新報社長番山六郎氏の發言にて本社長黒石起つて北米に於ける経過を詳述し、

最後に今時のアラカルに於ける

旨を指摘し、神經過敏になるの感

要なき共に之等間に附すべからざる所以を強調して審食となり人達もある様だが、兩者

木氏より昨夜聯合日本人會を組織

午後一時半再開、第二項(イ)の件につき協議に入り、先づ鈴

二、領事館より何等かの

形に於て邦人團體に權限を附され度し

その件につき協議に入り、先づ鈴

三、父兄會に對する建議

日本政

外務省としては決して許可しない

事に就ては、合地團體の希望を以て、即ち出來かれる

が自分一個人としては反対であ

る

その理由として各邦人團體の基礎

強固ならざる點を指摘し、更に成

程極限を附與したが爲め來紛争

を醸す虞ある事とし、北米に於け

る前例に

日本政

府が手を焼いた事を語

衛生等に關する調査を正確迅速に

にやつて失れど云ふのだった

ら領事館としては頗つたりつて

ゐが、現役士官の一一行の顔振れよ

り推して、今回の旅行には甚多の

使命あるらしく、帝國がパラグア

イ方面で武器を賣り込まんとして

ゐる情勢からしても多分その方面

に關係して實地觀察に來来たも

の如くである

するに決定せる由を告げ、各地邦

人團體に或る種極限を附與された

き旨を述べば之に對し原口氏は

領事館としては即答出來かれる

が自分一個人としては反対であ

る

その理由として各邦人團體の基

本社長黒石起つて北米に於ける

性質を異にするものと信じて

あるが、翌十三日午前九時よ

り更に同地領事館官邸に集り、排

至るや先づ發起者代表アロミツ

ソン汎川會長池戸忠次郎氏起つて

一場の挨拶なし、同常任幹事鈴

木造氏議事進行係なり

協議事項の

一、排日問題に對する將來の對策

に就き諸事を進むる事となつた

先づ鈴木氏より

の説明あり、次いでピアギ代表宮崎八

郎氏、マリア代表表山下唯一氏等

新傾向が種々見られるが邦人方

面にも色々意味で新傾向が現は

れる、特に最近立つものは歸化

の申請などものが非常に多くな

つたことで、日に廿五名が一緒

に申請して來たところあり、領事館

ではこれが手續に轉手古義の有機

である、手續に轉手古義の有機

である、廿五名が一緒に申請した

従来なかつた事で、今まで歸化

は職業上止むを得ない場合の外

は一般に歓迎されなかつたが、

の如きは各邦の日本人會が一圓の

申請をなすものが非常に多くな

つたのであるが、これが通じて依つて

伯國會が種々變つた

